

南原中だより

米沢市立南原中学校

学校通信

2019. 3. 15

平成30年度教育課程を修了

今年は例年になく暖冬で、南原の里にももうすぐ春の訪れがやって来そうな季節となりました。(中略)よく本校を訪れてくださったお客様から、「玄関に入ると深々とお辞儀をして“こんにちば”と言ってくれる生徒がいました。」とか「いつも生徒さんの元気なあいさつを聞いて、自分も元気になります。」などと言っていただきます。これも「南中プライド」であり、自分を表現できるということは本当に素晴らしいことです。これからも誇りを持って行動してください。

さて、話は変わりますが平成三十年度はみなさんにとってどんな一年だったのでしょうか。入学式で私はみなさんに、本田宗一郎氏の「竹にはフシがある。そのフシがあるからこそ、竹は雪にも負けない強さを持つのだ。」という話をしました。竹には節があり、大雪や強風の中にあっても節が柔軟に伸び縮みしながら全体が大きくしなすることで衝撃をやわらげていること。人生にも喜びや希望に満ちた節目だけでなく、つらく苦しい節目もあること。人生において経験する困難や苦しさを乗り越えることが、しなやかさを生む節となり、どんな困難にも耐える強い心、逆境にも負けない柔軟性につながる。だから、たくさんの苦労を経験した人のほうが、節の多い強くてしなやかな人に成長すること。なので、困難も苦労も前向きに受け止めて逃げずに取り組む一年にしようと皆さんに伝えました。

みなさんは一年間、このことを真剣に受け止め、本当に頑張ったと思います。困難にぶち当たってもしっかりと前を向き、自分が今できることを逃げずに取り組んできたことが節となり、皆さんにとって大きな成長を感じることができた一年だったのではないのでしょうか。その自信と誇りを胸に、それぞれのステージでさらに成長することを願います。

いよいよ南原中学校は閉校を迎えます。閉校、そして統合に向けてしっかりと取り組んできたこの一年は、皆さんの人生の大きな財産となるはず。三年生は南原中最後の卒業生として、明日の晴れ舞台を、胸を張って迎えてください。一・二年生は、南原中学校最後の授業である明日の卒業式を、自分が大人になった時に自分の子どもたちに誇りを持って自慢できる一日にするよう、最後までしっかりやり切って下さい。

最後になりますが、「南中生よ、りんどうの花のように美しく、吾妻の空高く、雄々しく、勇ましくはばたく荒鷲のような力強い心を持とう」という先輩たちの思いに応えることができるよう、自分の意思を大切に夢をつかむ人になってほしいと思います。

これからもみなさんが凛とし、自分の意思を大切に未来を切り開いていくことを期待し、式辞いたします。



保護者・地域の皆様、一年間あたたかいご支援とご協力をいただき本当にありがとうございました。職員一同、心より感謝申し上げます。